

追浜あんず通信

Oppama Anzu Press

第27号 2024年11月 発行:特定非営利活動法人 アクションおっぱま

2024年度通常総会報告と2024年度の活動について

大変遅くなりましたが、2024年度通常総会の報告と2024年度の活動についてご報告します。

2024年度の通常総会は、6月7日(金)午後1時～午後3時 追浜コミュニティセンター第一学習室で開催されました。出席者17名(内委任状8名)、議決権のある社員総数30名、過半数16名ですので定足数を満たしております。総会の議題は、2023年度事業報告書、同活動計算書、同監査報告書、2024年度事業計画書、同活動予算書、役員案であり、いずれも異議なく承認されました。

2023年度の事業の中心は「東京湾第三海堡遺構展示場」の公開・見学、「貝山地下壕見学会の実施」になります。第三海堡では、月一回の一般公開日の見学者367人、団体は3団体59人、イベント公開はワイ!フェスタおっぱま、アイクルフェアとも多数来場で人数確認はできませんでした。

貝山地下壕見学会はホームページで募集する企画ツアーが84人、団体は1団体(台湾訪問団) 11人でした。2024年度事業は、これらの2つの事業を中心に進めていくとともに、今後とも継続して事業を進められるように「貝山地下壕ボランティアガイド

養成講座」を開催します。

2023年度活動計算書では、経常収益667,243円に対し経常費用が715,607円と赤字体質になっております。差額48,364円は補填した上で、なんとか232,922円を繰り越すことができました。なお当期は265,000円の寄付をいただくことができました(11人:市内6人、市外5人)。会員のみなさまはじめ、多くの方々のご支援で成り立っていることを痛感しております。なお、2023年度事業報告書等はホームページ(「アクションおっぱま」で検索)でご確認いただけます。

本年度は役員改選の年でもあります。理事は、青木 猛、河村啓子、昌子住江、村澤醇治と新たに小室卓重、宮崎 恵之助が加わりました。監事は杉山暢です。新任の小室理事、宮崎理事には抱負を述べていただきます。なお理事長は昌子住江、副理事長は新任の宮崎理事が務めます。

新理事2名を迎え、新たな船出を迎えた当法人を今後ともよろしく願いいたします。

(おっぱま大会実行委員会委員長・昌子住江 NPO法人アクションおっぱま理事長)

新理事の紹介

NPO法人アクションおっぱま

新副理事長 宮崎恵之助

私がアクションおっぱまとの出会いは、2023年4月の貝山地下壕見学への参加でした。その時郷土の歴史からもっと多くを学ばなければならないことに気付かされました。私達の愛する追浜には、戦跡が多くある事で先人達から多くのことを学び、若い世代へ伝える事こそ、今の我々世代の使命であると考えます。私も微力ながら誠心誠意頑張りますので、皆様のお力添えよろしく願いいたします。



NPO法人アクションおっぱま

新理事 小室卓恵

幾つかのNPO活動をしています。それらは子育て支援を主な活動としています。一方で、追浜で何かしたいの思いも持っていました。

かつて追浜高校に青春の3年間を過ごし、時を経て追浜に暮らし始め28年になります。この地のことをさらに知りたい、この地に少しでも役に立てることがあれば言うことはありません。

追浜をもっと好きになる予感がします。

「追浜ファン」を増やすべく、楽しく活動してまいります。



おっぱまの子育て事情

追浜東町に総戸数1000戸超の2つのマンション群ができたのが、2012年から2014年。追浜は、高齢化率の高い地域でしたが、これを機に、子育て世代が増えました。では、子育て世代にとって、追浜は「住みやすいまち」でしょうか。「おっぱまの子育て環境」についてまとめてみました。

◆子育て支援センター「愛らんど追浜」(追浜駅前サンビーチ追浜4階)

0歳~おおむね3歳のお子さんと保護者などのための施設です。/毎日10:00~17:30 開所(年末年始、ビル休館日を除く)おもちゃや絵本があり、子育てに関する情報を発信。

子育てアドバイザー、子育てコンシェルジュに、子育てに関する相談ができます。

◆小児科「ふくなが小児科」「ひろこどもクリニック」「湘南病院」

◆公園 あちこちにありますが、よちよち歩きのお子さんでも連れていきやすい公園は限られる? 特に、駅周辺にはないかも。

◆保育園などの数

保育園3・こども園2・幼稚園2・小規模保育3・認可外保育施設2

◆「親子サロンおっぱま」(追浜地区社会福祉協議会)

毎月第4火曜日10:00~11:30追浜コミュニティセンター北館(北図書館3階)にて。

未就園児対象。予約不要・無料の、親子参加のお遊び会です。

◆「おっぱま あそVIVA」(追浜地域運営協議会子育て支援部会)

地域住民による子育て支援。未就園児対象。

月1回、追浜コミュニティセンター北館にて。おもちゃがたっぷりの室内公園的な場。

◆学童保育 追浜地域の4小学校区に、それぞれあります。

◆放課後子ども教室 小学校内で実施している子どもの居場所。

追浜小、鷹取小で開設。(浦郷小、夏島小は、2025年1月開設予定)

さて、追浜は子育てしやすいでしょうか?

対象が限られているものについては、兄弟姉妹で一緒に行けないとの声があります。こどもから大人まで誰もが使えた「みんなの家」が廃止になったのは残念です。

子どもと一緒にご飯が食べられるお店がないとの声もあります。

サンビーチ追浜4階の「えき・まち・みちデザインセンター」では、再開発等の計画についてパネル展示等で情報発信しています。スタッフ常駐で質問もできます。

2027年竣工予定の駅前再開発の計画等に、子育て世代の声が反映されるといいですね。

(NPO法人アクションおっぱま 理事 小室卓恵)

2024おっぱま祭り

今年の 夏も猛暑続きの7月14日、恒例のおっぱま祭りが開催されました。

誰を彼も汗だくのなか、町のメインストリートには大勢の人が溢れ、出店の飲み物に列ができ、お目当ての御神輿やサンバに人々が釘付けでした。



追浜浦郷小学校創立150周年記念集会開催



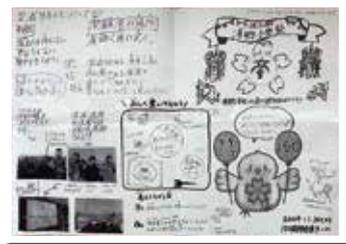
1875年、自得寺の本浦学舎、翌年の小学浦郷学校へ改称。明治時代の学区編成によって誕生した、追浜で一番古い浦郷小学校がこの度150周年を迎え、本年11月30日(土)に記念行事が行われました。

当日は冬にしては暖かい日本晴れで、朝から先生方や児童たちは大忙しで準備に奔走していました。



今回、150年記念事業は児童たちが希望する企画を考案し、児童たちがプロデュースし率先して運営を行ったとのこと。先生たちはスタッフで援護したそうです。

午前中の記念集会終了後、特別給食「浦郷ハッピーセット」として700名分以上用意された追浜深浦漁港の若布の味噌汁を全員で楽しみ、午後はP・T・Aの参加で「うらフェス」が開催。一日中浦郷小学校は賑やかで児童たちの元気な合唱、音楽劇などイベントも盛りだくさんでした。



特別給食の深浦漁港のわかめの味噌汁給食

現在校児童660名以上と先生たちが一体となり記念集会を盛り上げ思い出深い一日となりました。

こどもたちの未来に、浦郷小学校の歴史が継承されてゆくことでしょう!

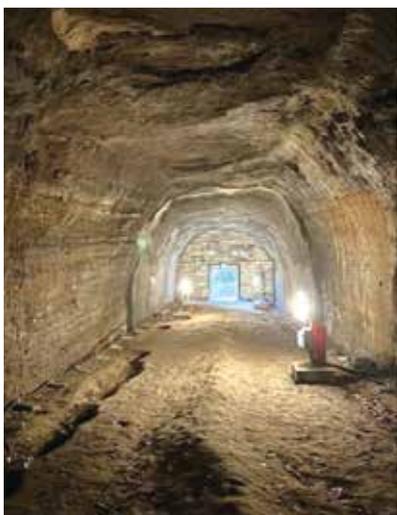
(取材 あんず通信編集担当 河村啓子)

おっぱまはっけん倶楽部創立15周年記念 2024ワイ!フェスタおっぱま **同時開催**

10月27日(日)、夏島グランドをメイン会場に今年も、追浜観光協会・ワイフェス実行委員会主催で開催され、好天の秋の一日、約3万人の人達が様々な催し物が一杯のグランドで閉会迄思い思いに楽しんでいました。同時開催としておっぱまはっけん倶楽部が貝山地下壕見学会を行いました。



受付風景



おっぱまはっけん倶楽部設立15周年を記念し、ワイ!フェスタ当日に地域の方々を中心に参加者を募集し、見学会を開催しました。募集24名に対し45名の方々の申し込みがあり、全員受け入れガイド要員をやりくりし無事終えることが出来ました。

当日の受付には問い合わせが多数あり、来年の課題も出来ましたが丁寧なガイドに参加者には喜んで頂けました。





貝山地下壕ボランティアガイド養成講座を開催しました

NPO法人アクションおっぱまの「貝山地下壕見学会」は、当初ボランティアガイド16人でスタートしましたが、今後のガイド活動を円滑に進めるためには後継者の育成が急務となっていました。今年度事業として、初めて「貝山地下壕ボランティアガイド養成講座」を開催し、新たなガイド希望者を募集しました。これに応えてくださったガイド希望者は5名、11月～12月にかけて6回の講座に臨んでいます。

追浜にある「東京湾第三海堡遺構」や「貝山地下壕」といった戦争遺産を、地域内外の方々に紹介し、地域の歴史と戦争と平和について考える機会をともしませんか。どうぞあまり難しくお考えにならず参加をご検討ください。今回の募集は締め切っていますが、詳細はアクションおっぱまのホームページ「貝山地下壕ボランティアガイド養成講座」開催のご案内をご覧ください。今後は定期的にガイドを募集していくことを考えています。

貝山地下壕見学会 参加者の感想・意見から

貝山地下壕見学会は、2021年7月に第一回を開催してから2024年12月までで 累計340人が参加しています。見学者は、ホームページで募集する企画ツアー（以下「企画」）と団体申込とがあり、年度別に見ると、2021年度は地元の2団体(21人)のみ、2022年度は企画87人、6団体45人、2023年度は企画84人、1団体11人(台湾訪問団)、2024年度は12月までですが企画73人、1団体19人です。

見学された方からは、見学終了時に感想や意見を聞いていますが、概ね好評です。さらに改めてメールでも意見を求めています。その中からいくつかの例をご紹介します(一部割愛)。なお、お名前はイニシャルのみとし、年代、地域を記載しました。
(NPO法人アクションおっぱま理事長昌子住江)

「今日父を訪ね、追浜へ行って貝山地下壕を見学した話を始めると、父も少しずつ当時の様子を私に聞かせてくれました。少年航空兵募集のチラシを近所で見て15歳で志願し、17歳で終戦を迎えました。航空兵とは名ばかりで…1945年5月横浜が空襲された時、格納庫が破壊され、それ以降は本土決戦に備え貝山に食料を保管するための地下壕を、父たち少年兵が手掘りで作ったということです。…今回見学会に参加して父が10代の時に経験したことを私が知る手掛かりとなりました。」

(S.Sさん：女性 60代 横浜市)

「現地の感想ですが、第三海堡遺物は500～1000トンものコンクリート建造物をよく海上で造ったなという驚きとかなり丁寧な作りになっているという感想です。貝山地下壕も同様で、終戦間際に造った急ごしらえのイメージとは離れた、しっかりした天井も高い壕になっているのには驚きました。これらの維持や見学会の皆様の労力も大変ですが、これからもより多くの方に見て頂ければと思います。」

(H.Sさん：男性 60代 調布市)

「このような施設が横須賀市にあることを知りませんでしたので本当に勉強になりました。ガイドの先生方の解説も適切で、本当にありがとうございました。また機会があれば参加したいと思います。」

(S.Mさん：男性 30代 横須賀市)



お知らせ

第三海堡模型展示室外装が終了

2展示室の外装の劣化が修理されようやく綺麗になりました。



アイクルフェア開催

11月17日(日) 毎年開催のアイクルフェアに第三海堡も同時開催しました。例年より見学者は少ない感じでした。

2025年
おっぱま七福神
参加者募集中!



追浜あんず通信27号 2024年11月発行

発行 特定非営利活動法人アクションおっぱま
発行人 昌子住江
編集 NPO法人アクションおっぱま編集委員会

編集後記

今年の暑さは過酷でした。
来年は7月、8月、9月と
活動も長い夏休みです。
先が心配です。(昌子)